

志賀原子力発電所原子炉格納容器内ペDESTALにおける漏水について

本日、午後3時に北陸電力(株)から、本日9月25日(木)午前11時頃に原子炉圧力容器下部から漏水があった(<http://www.rikuden.co.jp/news/03092501.pdf>)との連絡があった。

当該漏水は、原子炉圧力容器の内部の冷却水であり、放射能を帯びている。漏水量は4,300リットル、放射エネルギーは430万ベクレルであり、冷却水が作業員2名にかかったが、完全に防護した服装で作業を実施しており、また体表面検査についても問題がなかったことから、この事象による被ばくはなかったと報告されている。

本件は、制御棒駆動機構を戻す作業を行う際に、誤って制御棒が付いていない箇所の閉止板(制御棒が外れていると原子炉冷却水が出てくるため蓋をする板)を外したために生じたもの。

漏れた水は、格納容器内のペDESTALという箇所(圧力容器の下のエリア)にとどまっており、ここから液体廃棄物処理系へ移送される。従って、他への汚染の拡がりはなく、外部への影響はない。

この件に関しては、連絡基準Ⅱにより北陸電力(株)から連絡を受けている。また、本日中に立入調査を実施し、

- ・現地の状況
- ・漏水の処理方法
- ・作業員の被ばくの有無 など

の確認を行う。

平成15年9月25日 原子力安全対策室 (直通) 076(225)1465 (県庁内線) 4234
--